

特定非営利活動法人口から食べる幸せを守る会

平成 25 年度年次報告書



## NPO 法人 口から食べる幸せを守る会 会員の皆さまへ

平素より当会の活動に深いご理解とご尽力を賜っておりますこと心より御礼申し上げます。

7月12日に開催されました法人の第一回総会におきましてご提示した決算書類に関してのご報告を申し上げます。

総会時に完成していた計算書類を再度詳細に見直ししましたところ、県に提出する書類としては細かな点で記載不足があることが判明し、急遽修正を行いました。この修正された決算書類に生じた金額の差は仕分け直しの結果と、決算前に第2回大会の経費を支払っていた前払金の発生が要因です。その後、監事 田口哲様、行政書士法人東京総合行政事務所 福原正太郎様にご尽力いただき提出可能な形の決算書類に修正をしていただきました。

決算事項は本来、総会決議事項ですが、現実的には8月31日の県への提出期限が迫り、臨時総会の開催は厳しい面がありましたので、行政書士法人東京総合行政事務所様にご相談し、緊急性が高い事項として、修正した内容を理事会で検討・決議させていただきました。

次年度からは適正な報告書類、決算書類を総会でご呈示できるように努力致します。なお、書類の内容に関しまして、お問い合わせなどがございましたら、法人事務局までご連絡ください。

今後とも何卒宜しくお願い致します。

平成26年8月29日

NPO法人 口から食べる幸せを守る会

役員一同

# 平成 25 年 度 事 業 報 告 書

法人の名称 特定非営利活動法人 口から食べる幸せを守る会

## 1 事業の成果

広く一般市民に対して、口から食べることの重要性についての普及・啓発に関する事業は計3回の大会・研修会を開催し、全国、各地の医療・福祉関係者、一般市民等に普及・啓蒙を行った。会員数は5月31日現在、個人会員295名、団体会員6団体、賛助会員12団体となった。口から食べることが困難な方に対する支援に関する事業は、事務所において電話・メール・FAX等での相談を主とし、症例によっては対応可能な医療機関、医療従事者を紹介しその後の支援へと繋げていった。口から食べることが困難な方への支援に携わる医療従事者等に対する知識・技術の向上のための支援に関する事業は、計5回の実技セミナーを開催し、口から食べることが困難な方が口から食べられるようになること、食べ続けられるようになることを支援するために、支援者のスキルアップをするための実技講習会を開催した。参加者は延べ186名になった。口から食べることの重要性についての普及・啓発を行う個人・団体・企業等との協力・支援に関する事業は、会員間での情報交換の場の提供、連携の補助を行った。これらの事業により全国各地での“口から食べること”を普及させるための事業を推進した。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 口から食べることの重要性についての普及・啓発に関する事業

- ・ 内 容 口から食べることの重要性及び正しい理解を深めることを目的とした講演会を企画・開催する。
- ・ 日時・場所 平成25年 7月13日(土) 第1回大会 横浜市開港記念会館  
平成25年10月13日(日) 北陸支部研修会 金沢市文化ホール  
平成26年 2月 9日(日) 九州研修会 九州大学医学部 百年講堂
- ・ 従事者人員 23名～100名
- ・ 受益対象者 医療・福祉関係者、一般市民 150名～450名/回

#### ② 口から食べることが困難な方に対する支援に関する事業

- ・ 内 容 口から食べることが困難な方及びその家族を対象とした、治療・介護・保険制度等について、電話・メール・面談等による相談の受付及び情報の提供
- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 法人事務所
- ・ 従事者人員 2名
- ・ 対 象 者 口から食べることが困難な方及びその家族 相談総数150件

③ 口から食べることが困難な方への支援に携わる医療従事者等に対する知識・技術の向上のための支援に関する事業

- ・ 内 容 医療従事者等に対する口から食べることが困難な方への支援についての知識・技術の向上を目的とした研修会・講習会の企画・開催
- ・ 日時・場所 平成25年 7月14日(日)  
第1回実技セミナー 神奈川県立保健福祉大学  
平成25年11月16日(土)  
第2回実技セミナー 気仙沼市立病院  
平成25年12月14日(土)  
第3回実技セミナー 日本赤十字広島看護大学  
平成26年 3月15日(土)  
第4回実技セミナー 神奈川県立保健福祉大学  
平成26年 5月10日(土)  
第5回実技セミナー 本荘第一病院
- ・ 従事者人員 5名～23名
- ・ 受益対象者 医療・福祉関係者等 延べ186名

④ 口から食べることの重要性についての普及・啓発を行う個人・団体・企業等との協力・支援に関する事業

- ・ 内 容 口から食べることの重要性についての普及・啓発を行う個人・団体・企業等との情報の共有及び情報交換を目的とした連絡会の設置・運営
- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 法人事務所
- ・ 従事者人員 2名
- ・ 対 象 者 医療・福祉関係者、一般市民、一般企業

(2) その他の事業

- ① 口から食べることを補助するための物品の販売に関する事業
- ・ 実施しなかった

## 活動計算書

平成25年6月11日から平成26年5月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人 口から食べる幸せを守る会

(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
入会受取会費	1,057,000		
年間受取会費	3,235,000	4,292,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	1,011,778	1,011,778	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	47,000	47,000	
4. 事業収益			
口から食べることの重要性についての普及・啓発に関する事業収益	4,627,957		
口から食べるのが困難な方に対する支援に関する事業収益	0		
口から食べるのが困難な方への支援に携わる医療従事者等に対する知識・技術の向上のための支援に関する事業収益	1,724,000		
口から食べることの重要性についての普及・啓発を行う個人・団体・企業等との協力・支援に関する事業収益	0		
口から食べることを補助するための物品の販売に関する事業収益	0	6,351,957	
5. その他収益			
受取利息	647		
雑収益	674,252	674,899	
経常収益計			12,377,634
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	25,000		
人件費計	25,000		
(2) その他経費			
旅費交通費	1,065,550		
消耗品費	57,750		
印刷製本費	212,468		
光熱水料費	94,435		
賃借料支出	368,028		
諸謝金	1,251,138		
その他経費計	1,308,730		
事業費計		4,383,099	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	2,868,600		
法定福利費	178,532		
人件費計	3,047,132		
(2) その他経費			
通信運搬費	180,299		
消耗品費	177,136		
印刷製本費	272,100		
租税公課	529		
雑支出	1,051,387		
その他経費計	1,681,451		
管理費計		4,728,583	
経常費用計			9,111,682
当期経常増減額			3,265,952
税引前当期正味財産増減額			3,265,952
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			3,265,952
前期繰越正味財産額			0
次期繰越正味財産額			3,265,952

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2011年11月20日 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 借入金が増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	0	0	0	0
役員借入金	0	2,229,023	1,949,963	279,060
合計	0	2,229,023	1,949,963	279,060

3. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及びその近親者との取引
(活動計算書)		
受取寄付金	876,738	200,000
給料手当	2,868,600	2,868,600
活動計算書計	3,745,338	3,068,600
(貸借対照表)		
役員借入金	279,060	279,060
貸借対照表計	279,060	279,060

貸 借 対 照 表

(特定非営利活動に係る事業会計)

平成 26年 5月 31日現在

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	3,819,850		
前払金	178,406		
流動資産合計		3,998,256	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			3,998,256
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	290,000		
預り金	163,244		
流動負債合計		453,244	
2 固定負債			
長期借入金	279,060		
固定負債合計		279,060	
負債合計			732,304
III 正味財産の部			
正味財産			3,265,952
(当期正味財産増加額(減少額))			3,265,952
負債及び正味財産合計			3,998,256

財 産 目 録

(特定非営利活動に係る事業会計)

平成 26年 5月 31日現在

特定非営利活動法人の名称		特定非営利活動法人 口から食べる幸せを守る会		
科 目		金 額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	現金手許有高	120,007		
普通預金	みずほ銀行厚木支店	3,699,843		
前払金		178,406		
	流動資産合計		3,998,256	
2 固定資産				
	固定資産合計		0	
	資産合計			3,998,256
II 負債の部				
1 流動負債				
	前受金	290,000		
	預り金	163,244		
	流動負債合計		453,244	
2 固定負債				
	長期借入金	279,060		
	固定負債合計		279,060	
	負債合計			732,304
	正味財産			3,265,952



# 監事監査報告書

特定非営利活動法人 口から食べる幸せを守る会  
理事長 小山 珠美 殿

私は、特定非営利活動法人口から食べる幸せを守る会の第1期、平成25会計年度（平成25年6月11日から平成26年5月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

## 監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び活動計算書の監査を実施しました。

## 記

### 監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、活動及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

平成26年 7月 2日

特定非営利活動法人 口から食べる幸せを守る会

監事 田口 哲



# 平成26年度事業計画書

法人の名称 特定非営利活動法人口から食べる幸せを守る会

## 1 事業活動方針

広く一般市民に対して、口から食べることの重要性についての普及・啓発に関する事業、口から食べるのが困難な方に対する支援に関する事業、口から食べるのが困難な方への支援に携わる医療従事者等に対する知識・技術の向上のための支援に関する事業、口から食べることの重要性についての普及・啓発を行う個人・団体・企業等との協力・支援に関する事業を行うことにより、地域の保健、医療の増進及び社会教育の推進を図り、もって広く公益に寄与するために下記事業を継続、推進する。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 口から食べることの重要性についての普及・啓発に関する事業

- ・内 容 口から食べることの重要性及び正しい理解を深めることを目的とした講演会を企画・開催する。
- ・日 時 平成26年7月12日、13日 神奈川県横須賀市  
平成26年7月26日 沖縄県豊見城市  
平成26年10月12日 岡山県岡山市
- ・場 所 国内の公共施設
- ・従事者人員 各回10名～50名
- ・受益対象者 医療・福祉関係者、一般市民 150～400名/回

#### ② 口から食べるのが困難な方に対する支援に関する事業

- ・内 容 口から食べるのが困難な方及びその家族を対象とした、治療・介護・保険制度等について、電話・メール・面談等による相談の受付及び情報の提供
- ・日 時 通年
- ・場 所 法人事務所
- ・従事者人員 2名
- ・受益対象者 口から食べるのが困難な方及びその家族 10名/月

#### ③ 口から食べるのが困難な方への支援に携わる医療従事者等に対する知識・技術の向上のための支援に関する事業

- ・内 容 医療従事者等に対する口から食べるのが困難な方への支援についての知識・技術の向上を目的とした研修会・講習会の企画・開催
- ・日 時 年5回  
平成26年 7月26日 沖縄県豊見城市  
平成26年 9月23日 東京都港区  
平成26年11月 1日 秋田県由利本荘市  
平成26年12月13日 広島県廿日市市  
平成27年 2月21日 熊本県菊陽町
- ・場 所 日本国内の公共施設
- ・従事者人員 各回5名～20名
- ・受益対象者 医療・福祉関係者等 50名/回

- ④ 口から食べることの重要性についての普及・啓発を行う個人・団体・企業等との協力・支援に関する事業
- ・内 容 口から食べることの重要性についての普及・啓発を行う個人・団体・企業等との情報の共有及び情報交換を目的とした連絡会の設置・運営
  - ・日 時 通年
  - ・場 所 法人事務所
  - ・従事者人員 2人
  - ・ 受益対象者 口から食べることの重要性についての普及・啓発を行う個人・団体・企業等 2名～10名／月、10団体／月

(2) その他の事業

- ① 口から食べることを補助するための物品の販売に関する事業
- ・ 今年度は予定しない